

目標	分類	区分	番号	PI名	計算式	単位	H30 PI値	R1 PI値	R2 PI値	見方 (望ましい/望め)	指標について
安全で良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	残留塩素濃度合計/残留塩素測定回数	(mg/L)	0.33	0.30	0.33	—	給水栓での残留塩素濃度の平均値を表します。残留塩素濃度0.1mg/L以上を確保した上で、なるべく小さな値にすることが望ましいとされます。
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	(最大カビ臭物質濃度/水質基準値)×100	(値,項目名) (%)	10.0	30.0	10.0	低	給水栓におけるカビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合を表します。
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	Σ(給水栓の総トリハロメタン濃度/給水栓数)/水質基準値×100	(%)	33.0	33.0	51.0	低	給水栓における、総トリハロメタン濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表します。
			A104	有機物(TOC)濃度水質基準比率	Σ(給水栓の有機物(TOC)濃度/給水栓数)/水質基準値×100	(%)	13.3	20.0	16.7	低	給水栓における有機物(TOC)濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表します。
			A105	重金属濃度水質基準比率	Σ(給水栓の当該重金属濃度/給水栓数)/水質基準値×100	(値,項目名) (%)	40.0	30.0	30.0	低	給水栓における重金属濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表します。
			A106	無機物質濃度水質基準比率	Σ(給水栓の当該無機物質濃度/給水栓数)/水質基準値×100	(値,項目名) (%)	20.0	21.0	20.3	低	給水栓における無機物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の味、色など性状を表します。
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率	Σ(給水栓の当該有機化学物質濃度/給水栓数)/水質基準値×100	(値,項目名) (%)	0.0	0.0	0.0	低	給水栓における有機化学物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表します。
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	Σ(給水栓の当該消毒副生成物濃度/給水栓数)/水質基準値×100	(値,項目名) (%)	26.7	40.0	63.3	低	給水栓における消毒副生成物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表します。
			A109	農業濃度水質管理目標比	max Σ(Xij/GVj)	-	0.000	0.000	0.000	低	給水栓における各農業濃度と水質管理目標値との比の合計を示すもので、水源の汚染状況及び水道水の安全性を表します。
	施設管理	A201	原水水質監視度	原水水質監視項目数	(項目)	57	57	57	—	水道事業者が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示しており、水道事業者の水質管理水準を表します。原水の特質によることもあり、必ずしも項目数が多いことが良いとは限りません。	
		A202	給水栓水質検査(毎日)箇所密度	(給水栓水質検査(毎日)採水箇所数/現在給水面積)×100	(箇所/100 km ²)	11.3	11.3	11.3	高	給水栓における毎日水質検査に際して、給水面積100km ² 当たりの給水栓水質の監視箇所数を示したものであり、水道水の水質管理水準を表します。	
		A203	配水池清掃実施率	(5年間に清掃した配水池有効容量/配水池有効容量)×100	(%)	2.9	3.0	3.8	高	配水池有効容量に対する5年間に清掃した配水池有効容量の割合を示すもので、安全で良質な水への取組み度合いを表します。	
		A204	直結給水率	(直結給水件数/給水件数)×100	(%)	99.4	99.4	99.3	高	給水件数に対する直結給水件数の割合を示すもので、受水槽管理の不備に伴う衛生問題などに対する水道事業者としての取組み度合いを表します。	
		A205	貯水槽水道指導率	(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道数)×100	(%)	0.0	0.0	0.0	高	貯水槽水道数に対する指導を実施した件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度合いを表します。	
	事故災害対策	A301	水源の水質事故件数	年間水源水質事故件数	(件)	0.00	0.00	0.00	低	1年間における水源の水質事故件数を示すもので、水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを表します。	
		A302	粉末活性炭処理比率	(粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量)×100	(%)	0.0	0.0	0.0	低	粉末活性炭注入設備を保有する浄水場における年間浄水処理量に対する粉末活性炭年間処理水量の割合を示すもので、原水の汚染状況、水質事故などに対する対応を表します。	
	施設整備	施設更新	A401	鉛製給水管率	(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	(%)	35.85	35.74	34.26	低	給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表します。
	安定した水の供給	施設管理	B101	自己保有水源率	(自己保有水源水量/全水源水量)×100	(%)	23.8	23.8	23.5	—	水道事業者が保有する全ての水源量に対する、その水道事業者が単独で管理し、水道事業者の意思で自由に取水できる水源量の割合を示すもので、水源運用の自由度を表します。
			B102	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額	水源保全に投資した費用/年間取水量	(円/m ³)	0.00	0.00	0.00	高	取水量1m ³ 当たりに対する水源保全に対する投資費用を示すもので、水道事業者の水質保全への取組み状況を表します。
			B103	地下水率	(地下水揚水量/年間取水量)×100	(%)	55.6	54.5	56.6	—	水源利用量に対する地下水揚水量の割合を示すもので、水道事業者の水源特性を表します。この比重が高ければ経営上有利といえますが、水源が井戸だけの場合が必ずしも望ましいわけではありません。
			B104	施設利用率	(一日平均配水量/施設能力)×100	(%)	49.3	47.7	48.6	—	施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表します。経営効率化の観点からは数値が高い方が良いですが、施設更新、事故に対応できる一定の余裕は必要です。
			B105	最大稼働率	(一日最大配水量/施設能力)×100	(%)	57.5	56.6	53.6	—	施設能力に対する一日最大配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表します。値が高い方が、施設が有効利用されているといえますが、100%に近い場合、安定的な給水に問題があるといえます。
			B106	負荷率	(一日平均配水量/一日最大配水量)×100	(%)	85.8	84.4	90.6	高	一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表します。
			B107	配水管延長密度	配水管延長/現在給水面積	(km/km ²)	3.0	3.0	3.0	—	給水面積当たりの配水管延長を示すもので、お客さまからの給水申込みに対する物理的利便性の度合いを表します。値が高ければ整備状況が良いと一概にいえず、人口密度等により適切な規模があります。
			B108	管路点検率	(点検した管路延長/管路延長)×100	(%)	10.7	11.4	6.5	高	管路延長に対する1年間に点検した管路延長の割合を示します。管路の健全性確保に対する執行度合いを表します。
			B109	バルブ点検率	(点検したバルブ数/バルブ設置数)×100	(%)	5.5	4.5	5.8	高	バルブ設置数に対する1年間に点検したバルブ数の割合を示します。管路の健全性確保に対する執行度合いを表します。
			B110	漏水率	(年間漏水量/年間配水量)×100	(%)	9.7	8.7	9.1	低	配水量に対する漏水量の割合を示しており、事業効率を表します。漏水は浄水の損失だけでなく、エネルギー損失、給水不良、道路陥没などの事故にもつながる大きな損失になります。
			B111	有効率	(年間有効水量/年間配水量)×100	(%)	90.0	91.0	91.1	高	年間配水量に対する年間有効水量の割合を示すもので、水道事業の経営効率性を表します。
			B112	有収率	(年間有収水量/年間配水量)×100	(%)	86.0	87.2	86.6	高	年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表します。
			B113	配水池貯留能力	配水池有効容量/一日平均配水量	(日)	1.15	1.19	1.19	高	一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表します。需要と供給の調整及び突発事故に備え、0.5日以上は必要とされています。
B114			給水人口一人当たり配水量	(一日平均配水量/現在給水人口)×1,000	(L/日・人)	346	338	341	—	給水人口一人当たりの配水量を示すもので、家庭用以外の利用の多少を表します。夜間人口に比べて昼間人口が多い大都市、観光地での数値が高くなるのが想定されます。	
B115			給水制限日数	年間給水制限日数	(日)	0	0	0	低	1年間に給水制限を実施した日数を示すもので、給水サービスの安定性を表します。	
B116			給水普及率	(現在給水人口/給水区域人口)×100	(%)	99.7	99.8	99.8	高	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合を示すもので、水道事業のサービス享受の概況及び地域性を表します。	
B117			設備点検実施率	(点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数)×100	(%)	46.5	47.0	46.4	高	機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表します。	
事故災害対策		B201	浄水場事故割合	10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数	(件/10年・箇所)	0.00	0.00	0.00	低	直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を浄水場当たりとして示すものであり、施設の信頼性を表します。	
		B202	事故時断水人口率	(事故時断水人口/現在給水人口)×100	(%)	92.7	96.4	96.5	低	浄水場などの事故時において、給水できない人口の割合を示しており、水道事業者のシステムの融通性、余裕度による施設の安定性を表します。	
		B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	(配水池有効容量×1/2+緊急貯水槽容量)×1,000/現在給水人口	(L/人)	199	201	203	高	災害時に確保されている給水人口一人当たりの飲料水量を示す指標であり、水道事業者の災害対応度を表します。この業務指標は、貯留量を示すもので、必ずしも利用可能量を示すものではありません。	
		B204	管路の事故割合	管路の事故件数/(管路延長/100)	(件/100 km)	6.3	6.0	2.5	低	1年間における導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、管路の健全性を表します。	
	B205	基幹管路の事故割合	基幹管路の事故件数/(基幹管路延長/100)	(件/100 km)	0.0	0.0	0.4	低	1年間における基幹管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、基幹管路の健全性を表します。		
	B206	鉄製管路の事故割合	鉄製管路の事故件数/(鉄製管路延長/100)	(件/100 km)	3.6	3.1	0.3	低	1年間における鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、鉄製管路の健全性を表します。		
	B207	非鉄製管路の事故割合	非鉄製管路の事故件数/(非鉄製管路延長/100)	(件/100 km)	8.4	8.2	4.2	低	1年間における非鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、非鉄製管路の健全性を表します。		
	B208	給水管の事故割合	給水管の事故件数/(給水件数/1,000)	(件/1,000件)	3.7	3.4	2.7	低	給水件数1,000件当たりの給水管の事故件数を示しており、配水管分枝から水道メーターまでの給水管の健全性を表します。		
	B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	Σ(断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)/現在給水人口	(時間)	0.00	0.00	0.00	低	現在給水人口に対する断水・濁水時間を示すものであり、給水の安定性を表します。		
	B210	災害対策訓練実施回数	年間の災害対策訓練実施回数	(回/年)	4	2	1	高	1年間に災害対策訓練を実施した回数を示すもので、自然災害に対する危機対応性を表します。		
B211	消火栓設置密度	消火栓数/配水管延長	(基/km)	3.3	3.3	3.3	高	配水管延長に対する消火栓の設置密度を示すもので、危機対応能力の度合いを表します。設置数だけに与わらず、適所に設置することが望ましいといえます。			

Table with 15 columns: 目標, 分類, 区分, 番号, PI名, 計算式, 単位, H30 P1値, R1 P1値, R2 P1値, 見方, 指標について. Rows are categorized into '環境対策', '施設管理', '施設更新', '事故災害対策', '健全経営', and '健全な事業経営'.

目標	分類	区分	番号	PI名	計算式	単位	H30 PI値	R1 PI値	R2 PI値	見方 (望ましい/望み)	指標について
組織・人材	人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度	職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数	(件/人)	1.71	1.54	1.67	高	職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合を示します。専門知識のある水道技術者の確保、育成を行う上での一つの目安となります。	
		C202	外部研修時間	(職員が外部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数	(時間/人)	11.80	14.14	1.42	高	職員一人当たりの外部研修の受講時間を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表します。	
		C203	内部研修時間	(職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数	(時間/人)	4.57	3.03	0.39	高	職員一人当たりの内部研修の受講時間を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表します。	
		C204	技術職員率	(技術職員数 / 全職員数) × 100	(%)	54.29	54.29	52.78	—	全職員数に対する技術職員の割合を示すもので、技術面での維持管理体制を表します。この値が低くなることは、直営での施設の維持管理が困難となることにつながります。	
		C205	水道業務平均経験年数	職員の水道業務経験年数 / 全職員数	(年/人)	13.6	14.1	11.0	—	全職員の水道業務平均経験年数を示すもので、人的資源としての専門技術の蓄積度合いを表します。この値が大きい方が、職員の水道事業に関する専門性が高いと考えられます。	
		C206	国際協力派遣者数	Σ (国際協力派遣者数 × 滞在日数)	(人・日)	0	0	0	高	国際協力に派遣された人数とその滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表します。	
		C207	国際協力受入者数	Σ (国際協力受入者数 × 滞在日数)	(人・日)	0	0	0	高	受け入れた海外の水道関係者の人数と滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表します。	
	業務委託	C301	検針委託率	(委託した水道メーター数 / 水道メーター設置数) × 100	(%)	100.0	100.0	100.0	—	水道メーター設置数に対する検針委託している水道メーター数の割合を示すもので、業務委託の割合を表します。	
		C302	浄水場第三者委託率	(第三者委託した浄水場の浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100	(%)	0.0	0.0	0.0	—	全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を示すもので、第三者委託の導入状況を表します。	
	お客さまとのコミュニケーション	情報提供	C401	広報誌による情報の提供度	広報誌などの配布部数 / 給水件数	(部/件)	1.83	1.83	1.83	高	給水件数に対する広報誌などの発行部数の占める割合を示すもので、お客さまへの事業内容の公開度合いを表します。
			C402	インターネットによる情報の提供度	ウェブページへの掲載回数	(回)	61	61	70	高	インターネット（ウェブページ）による水道事業の情報発信回数を表すもので、お客さまへの事業内容の公開度合いを表します。
			C403	水道施設見学者割合	見学者数 / (現在給水人口/1,000)	(人/1,000人)	0.7	0.5	0.4	高	給水人口に対する水道施設見学者の割合を示すもので、お客さまとの双方向コミュニケーションの進捗度合いを表します。
意見収集		C501	モニタ割合	モニタ人数 / (現在給水人口/1,000)	(人/1,000人)	0.000	0.000	0.000	高	現在給水人口に占めるモニタ人数の割合を表すもので、お客さまとの双方向コミュニケーションの進捗度合いを表します。	
		C502	アンケート情報収集割合	アンケート回答人数 / (現在給水人口/1,000)	(人/1,000人)	0.00	0.00	0.00	高	給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合を示し、お客さまのニーズの収集実行度を表します。	
		C503	直接飲用率	(直接飲用回数 / アンケート回答数) × 100	(%)	-	-	-	高	水道水を飲用しているお客さまの割合を示すものであり、水道水の飲み水としての評価を表します。	
		C504	水道サービスに対する苦情対応割合	水道サービス苦情対応件数 / (給水件数/1,000)	(件/1,000件)	0.02	0.00	0.02	低	給水件数に対する水道サービスに関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道サービス向上に対する取組み状況を表します。	
		C505	水質に対する苦情対応割合	水質苦情対応件数 / (給水件数/1,000)	(件/1,000件)	0.00	0.00	1.33	低	給水件数に対する水道水の水質に関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道水質の向上に対する取組み状況を表します。	
		C506	水道料金に対する苦情対応割合	水道料金苦情対応件数 / (給水件数/1,000)	(件/1,000件)	0.00	0.00	0.03	低	給水件数に対する水道料金に関する苦情対応件数の割合を示すもので、お客さまの水道料金への満足度を表します。	
水道事業体のプロフィール		CI1	給水人口規模	現在給水人口	(人)	133,017	131,562	130,018	—	鶴岡市：122,559人 東田川郡三川町：7,361人 新潟県村上市（旧山北町）の一部：98人	
		CI2	全職員数	全職員数	(人)	35	35	36	—	一般職（行政職）員数：17人 技術職員数：19人	
システムのプロフィール		CI3	水源種別	-	-	浄水受水			—	その他：湧水、地下水（伏流水含む）、河川水	
	CI4	浄水受水率	浄水受水量 / 年間取水量	(%)	86.3	85.4	85.4	—	14,147,232(m ³)/16,569,246(m ³)×100		
	CI5	給水人口1万人当たりの浄水場数	浄水場数 / (現在給水人口/10,000)	(箇所/10,000人)	1.58	1.60	1.62	—	21(箇所) / (130,018(人)/10,000)		
	CI6	給水人口1万人当たりの施設数	(浄水場数+送・配水施設) / (現在給水人口/10,000)	(箇所/10,000人)	6.99	7.07	7.15	—	(21(箇所)+72(箇所)) / (130,018(人)/10,000)		
地域条件のプロフィール	CI7	有収水量密度	有収水量 / 計画給水区域面積	(1,000m ³ /ha)	0.35	0.34	0.34	—	14,012.240(1,000m ³)/41,470(ha)		
	CI8	水道メーター密度	水道メーター数 / 配水管延長	(個/km)	49.3	49.3	48.0	—	60,278(個)/1,255(km)		
	CI9	単位管延長	導送配水管延長 / 現在給水人口	(m/人)	10.33	10.45	10.58	—	1,376,000(m)/130,018(人)		